



2025 Super FJ Japan League Final



2025 筑波・富士 S-FJ 選手権

Tsukuba/FUJI Championship Round 8

2025 年 11 月 8 日 富士スピードウェイ 天候:晴れ 参加 31 台



テキスト:はた☆なゆき

11 月 8～9 日に「富士チャンピオンレースシリーズ第6戦」で行われるスーパーFJ は、筑波・富士シリーズとスーパーFJ ジャパンリーグの W タイトル。両シリーズともすでにチャンピオンは決まっており、筑波・富士シリーズは7戦3勝の#52 津田充輝選手(ファーストガレージ KK-SII)が、そしてスーパーFJ ジャパンリーグは7戦4勝の#55 酒井翔太選手(ファーストガレージ KKS2)が、それぞれ戴冠している。

だからと言って、今回のレースが単なる消化試合にならないことは、誰もが熟知していたはずだ。富士スピードウェイは 12 月 20～21 日に開催される、今年の「スーパーFJ 日本一決定戦」の舞台。その前哨戦とあって、エントリーは実に 31 台にも及んでいる。その中には、もちろん前回の富士でのレースを制している#56 箕浦稜己選手(MYST SEIDOYA KK-SII)も。「日本一」の称号をつかむためにも、前哨戦を制して勢いを得たいと誰もが思っている。

長いストレートで強烈にスリップストリームが効くコースとあって、他のコース以上にオーバーテイクは頻繁に繰り返される。大いに見応えのあるレースとなるのは、もはや必至だった。

公式予選

富士チャンピオンレースそのものは土曜日、日曜日に行われる、いわゆる2デイ開催ながら、スーパーFJ は土曜日のうちに予選、決勝が実施された。これがコンディショナルには幸いした。というのも日曜日は霧と雨に見舞われ、終始ウェットコンディションでの走行となったからだ。

別の理由で、これが幸いしたのが#55 酒井選手だった。ジャパンリーグに限らず、全国のサーキットを股にかけているのはご存知のとおりだが、オートポリスシリーズの最終戦も同じレースウィーク。目論見としては開幕 4 連勝で早々に王座を射止め、富士でのレースに専念というところだったはず。ところが、第3戦で内圧設定を大幅に見誤って 5 位に、そして第4戦が濃霧のため中止とあって、目下ランキングは 2 位なのだ。ただし、オートポリスのレースは日曜日のみの1デイ開催。というわけで#55 酒井選手は、両方のレースに参戦することに！

話は本題に戻って、予選である。練習が行われた金曜日は陽気にも恵まれていたほどだが、土曜日には 11 月の気候に戻っていた。つまり、寒い。しかも予選開始は 8 時。路面温度は低く、入念にウォームアップを行う必要もあった。開始から 5 分ほど経過したところで赤旗が。まだ 6 人しかコントロールラインを経過していない段階だ。2コーナー先で止まっていたのは、なんと#52 津田選手！ ミッショントラブルが原因だった。

中断は 5 分ほどだったが延長はなく、残り計測時間は 10 分。再開後のトップは#6 吉田馨選手(TAKE FIRST KK-S2)ながら、まだ 1 分 53 秒台。次の周には 1 分 52 秒 997 を出した#6 吉田選手、直後に#13 武者利仁選手(KF MOTORSPORTS KK-S2)が 1 分 52 秒 917 で上回る。再開から 3 周目、#6 吉田選手は 1 分 51 秒 999 にまで詰めるも、やはりすぐに 1 分 51 秒 954 を記した#51 切替悠喜選手(ファーストガレージ RSD 制動屋)に上回られてしまう。

再開から 4 周目には#51 切替選手はタイムアップならず。#6 吉田選手は 1 分 51 秒 956 にまで詰めるも、2 番手のまま。と思われた矢先に、それまで 1 分 54 秒台を記すに留まっていた、#56 箕浦選手が 1 分 51 秒 768 を叩き出して、一気にトップに浮上する。さらに#72 濱邊誠己選手(ELEVレーシング KKS2 制動屋)も 1 分 51 秒 900 で 2 番手に。

そしてラストアタック。ここで決めてきたのが、#6 吉田選手だった。1 分 51 秒 115 を叩き出してトップに振り返り、#56 箕浦選手も 1 分 51 秒 268 まで詰めてきたが、一步及ばず。鈴鹿をホームとしてきたドライバー 2 名が、フロントローに並ぶこととなった。

3 番手を獲得した#72 濱邊(はまべ)選手は四輪レース2戦目、筑波・富士シリーズの第6戦の筑波では予選、決勝ともに 3 位となっている 18 歳のドライバーだ。4 番手の#51 切替選手も 18 歳。筑波・富士シリーズの第7戦で初優勝を挙げている。5 番手は 1 分 52 秒 151 の#53 石井大雅選手(ファーストガレージ制動屋 SII)で、6 番手は 1 分 52 秒 209 の#10 杉田悠真選手(LAPS with REV RACING GARAGE)。

そして、「明日、オートポリスなので、いつもとは違う車に乗っていて、それに合わせきれていないというのが大きいですね」という#55 酒井選手だが、1 分 52 秒 645 に留まって 9 番手だったはずが、当該タイムは走路外走行で採用されなかったばかりか、複数回の走路外走行によって3グリッド降格のペナルティまでも……。14 番手からのスタートとなるが、どこまで順位を上げてくるか注目される。

ポールポジション：#6 吉田馨選手(TAKE FIRST KKS-2)

「赤旗はあんまり影響なかったです。逆に再開後は前に来られたので、ずっとクリア取れて。富士は今回初めてで、FJ で走るのは初めてだったんですが、コース幅が広いので、けっこう極めるのに時間がかかるんじゃないか、って思っていました。今、思うと走りやすいコースです。タイム的に見ると、箕浦さんとふたりでバトルする感じですかね？ 決勝は何事もなく、ちぎれるようにしたいです」



予選 2 番手: #56 箕浦稜己選手(MYST SEIDOYA KK-SII)

「いつものように、最初からいきなり行くのではなく、じっくり行きました。タイム差は小さいですけど、ねじ伏せて走ったタイムなので、実際にはちょっと差もあるように思います。決勝では気持ちを入れ替えて挑みます」



予選 3 番手: #72 濱邊誠己選手(ELEVレーシング KKS2 制動屋)

「予選は思ったより荒れていて、赤旗だったり、W イエローだったり、アタックのチャンスが少なかったのが、最終的に 1 周しかアタックできなかった感じだったんですが、その中でまとめられたのは自分の中でポジティブに捉えていますが、難しかったです。決勝では今の状況からアジャストするので、セットアップを変えていったら、なんとか詰められそうなので、決勝では出し切れるように、やれることはやりたいと思います。中学生までカートをやっていた、ここ3年はレース何も出ていません。カートもレーシングカートはやっていなくて。レンタルカートがメインでした。でも、ソディの日本代表になったことはありますよ」



決勝レース

10 時 25 分に決勝のスタート進行が開始。ということは予選終了から 1 時間あまり、最後尾からでも筑波・富士シリーズ王者 #52 津田選手の激走が見たかったが、修復は間に合わず。グリッドに並べられることなく、リタイアとなってしまったのは残念だ。

予選を前にもう 1 台リタイアしていたから、グリッドには 29 台が並んだ。おそらく日本一決定戦のファイナルには、もっと多くなるのだろう。今からその光景が楽しみでならない。コース上空は白い雲で覆われるようになっていたが、先にも触れたとおり雨は最後まで降らなかった。

ポールシッター #6 吉田選手の好スタートから決勝レースは開始された。#56 箕浦選手のダッシュも悪くなかったが、それ以上に良かったのが 4 番グリッドから飛び出した #51 切替選手。#72 濱邊選手をストレートで抜き去ったばかりか、1 コーナーで 2 番手に浮上する。

2 番手争いはなおも続き、コカコーラコーナーへの飛び込みはさながら我慢くらべのよう。#56 箕浦選手は前には出たものの、勢い余って #51 切替選手とともどもコースを飛び出してしまふ。さらに後方でも同様に飛び出していた車両はあったが、この時は接触もなく全車コースに復帰。

このバトルは、さっそく #6 吉田選手を楽しにした。オープニングラップを終えた時点で、1 秒 8 もの差をつけ、早々と独走体勢に。#56 箕浦選手、#51 切替選手、#72 濱邊選手、2 ポジションずつ上げた #13 武者選手、#2 YOSHIDA KODAI 選手 (T's TECHNO) の順で続く。

次の周になると、#6 吉田選手のリードは 2 秒 7 にまで拡大。その後方では #53 石井選手が、1 コーナーで #2



YOSHIDA 選手を抜いて 6 番手に浮上していた。さらに後ろでは#14 松原将也選手(ZAP MARUTOKU 10V ED)と#5 板倉慎哉選手(AMORE with Racing F)、#10 杉田選手による攻防も。コカコーラコーナーにスリーワイドで飛び込んでいくも、#10 杉田選手がコースアウト。大きく順位を落としてしまう。そのとばっちりを受けたのが、ジェントルマンクラスの#38 畠山退三選手(Hobby Bace & ZAP-ED)だ。回避しようとして順位を落とすことに。それまで総合でも、12 番手を走っていたというのに。

その間にも逃げ続ける#6 吉田選手に対し、後続のバトルはなおも続く。しばらくの間、コースの至るところで目まぐるしく順位を入れ替え合った……という表現でご容赦いただきたい。

こと 6 周目の1コーナーに#13 武者選手、#2 YOSHIDA 選手、#53 石井選手、#56 箕浦選手が横に4台で並んで飛び込んでいった様子は、まさしく圧巻の一言。このうち#53 石井選手がコースアウトして順位を落としてしまう。

これで2番手を争うのは4人に絞られ、10 周目の1コーナーで#72 濱邊選手が前に出るも、ダンロップコーナーでは



#51 切替選手が抜き返す。同じ周、ダンロップコーナーで#13 武者選手を#56 箕浦選手が抜いて 4 番手に浮上。そして最終ラップの1コーナーで#51 切替選手が 2 番手に立ち、最終コーナーも前でクリアするも、そこからのストレートでの伸びはスリップストリームにつけたこともあって、明らかに#72 濱邊選手の方が優っていた。

一度もバトルすることなく、#6 吉田選手がトップでチェッカーを受けてから、ほぼ 9 秒後。4台が一団となって続き、コントロールライン直前で#72 濱邊選手が#51 切替選手に並ぶ。前に出られたか？ #72 濱邊選手は出ていた、それもコンマ 0.6 秒差で！ その結果、富士を初めて走るドライバーが 1 位、2 位ということに。#51 切替選手は悔しい 3 位に。それでもランキング 3 位の座は守り抜いた。続いてゴールしたのは#56 箕浦選手、そして#13 武者選手だったものの、それぞれランオフエリア走行後の追い越しで 5 秒、危険な追い越しで 30 秒のタイムペナルティが課せられて、#56 箕浦選手は 5 位、#13 武者選手は 18 位に降格。繰り上がって#2 YOSHIDA 選手が 4 位に、そして 6 位は#55 酒井選手！ 前で繰り広げられていた激闘に加われなかったが、徐々に順位を上げ、ラスト 2 周で#14 松原選手を抜いていたことから、この結果を手に入れていた。

余談ながら、#55 酒井選手はレース後に羽田空港に移動。しかし、向かったオートポリスは日曜日の早朝から霧で、なかなか走行が許されず。予選はキャンセルされ、これまでのランキング順にグリッドが決められることに。それでも決勝は行われ、1 周も走っていない状態ながら、2 番手からスタートし、2 コーナーで前に出ると、そのままトップをキープ。見事、勝ってオートポリスシリーズのチャンピオンを決めていた。

また、ジェントルマンクラスでは#38 畠山選手が優勝。総合でも 16 位で、いったんは順位を落としていたが、それでもクラストップは最後まで守り抜いていた。アクシデント回避がなければ、シングルでフィニッシュしていた可能性もあるだけに、そこは少々残念そうだった。



優勝: #6 吉田馨選手(TAKE FIRST KK-S2)

「バトルはなかったんですけど、ずっとプッシュして、日本一決定戦に向けて、いろんなラインを試そうと。いろいろ試していたからタイムのばらつきはあったんですが、新発見もあったので、そのところは良かったと思います」

2位: #72 濱邊誠己選手(ELEVレーシング KKS2 制動屋)

「トップ逃しちゃったのが、僕の中では悔しいところで。ただ、その中で獲れる限りのポジションを獲れたのは良かったと思います。あと一つあるので、日本一決定戦で必ず獲ってみせます！」

3位: #51 切替悠喜選手(ファーストガレージ RSD 制動屋)

「エンジンがちょっと厳しくて、その割には、できたかなと。ちょっとバトルはラフになっていたかな、という気はしましたね」



ジェントルマンクラス優勝: #38 畠山退三選手(Hobby Base & ZAP-ED)

「A コーナーで前が飛び出して、避けるので順位落としちゃったんですよ。それがなければ、総合でももっと。ちょっともったいなかったんですけど、クラストップはずっと守っていました」

これでジャパンリーグも、筑波・富士シリーズも全日程を終了。まだ鈴鹿・岡山シリーズともてぎ・菅生シリーズは最終戦を残しているが、その後には冒頭で触れたとおり富士での日本一決定戦が控えている。また激しい戦いが繰り上げられることを期待したい。



S-FJ 公式予選

2025/11/8 9:55

FUJISPEEDWAY

正式結果表

Weather : Cloudy

Fuji Speedway(4,563m)

Track : Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Type	Best Time	Lap	Gap	Ave. km/h
1	6			吉田 馨	TAKE FAST KKS-2		1'51.115	8		147.836
2	56			箕浦 稜己	MYST SEIDOYA KK-S II	KKS-II	1'51.268	9	0.153	147.633
3	72			濱邊 誠己	ELEVレーシングKKS2制動屋	KKS-II	1'51.900	9	0.785	146.799
4	51			切替 悠喜	ファーストカレッジRSD制動屋	KKS-II	1'51.954	9	0.839	146.728
5	53			石井 大雅	ファーストカレッジ制動屋S II	KKS-II	1'52.151	8	1.036	146.470
6	10			杉田 悠真	LAPS with REV RACING GARAGE	KKS-II	1'52.209	9	1.094	146.395
7	13			武者 利仁	KF MOTORSPORT KK-S2	KKS-II	1'52.274	9	1.159	146.310
8	2			YOSHIDA KODAI	T's TECHNO		1'52.586	9	1.471	145.904
9	14			松原 将也	ZAP MARUTOKU 10VED	RD10V	1'52.739	9	1.624	145.706
10	12			宮本 颯斗	自動車工房ミスト	KKS-II	1'52.821	9	1.706	145.601
11	34			藤井 翔太	Drago CORSE		1'52.915	9	1.800	145.479
12	33			磐上 隼斗	7&レックス富士吟景GIA・KKS2		1'52.991	8	1.876	145.381
13	5			板倉 慎哉	AMORE with Racing F	KKS-II	1'53.022	9	1.907	145.342
*1	14			酒井 翔太	ファーストカレッジkks2		1'53.027	8	1.912	145.335
15	84			林 零仁	KSJC KK-SII		1'53.128	9	2.013	145.205
16	38	ジェントルマン	1	畠山 退三	Hobby Base& zap-ED	KKS-II	1'53.153	9	2.038	145.173
17	22			内藤 大輝	RCIT RaiseUP ED		1'53.280	9	2.165	145.011
18	23			宇高 希	ティク エヌエーティー		1'53.387	9	2.272	144.874
19	61			一宮 總太郎	MYST KK-S II	KKS-II	1'53.463	9	2.348	144.777
*1	20			小林 留魁	アルビ新潟第一ホテルGIAED	RD10V	1'53.617	8	2.502	144.580
21	15			相田 有羽音	ZAP SPEED 10VED	RD10V	1'54.567	8	3.452	143.382
22	31			木曾川 一輝	新潟国際自動車コースEDRD	RD10V	1'54.679	8	3.564	143.242
*2	23	ジェントルマン	2	野村 大樹	WRS NOMURA KKS-II	KKS-II	1'55.342	6	4.227	142.418
24	3	ジェントルマン	3	秋山 健也	スーパーウイングKKS2	KKS-II	1'55.890	8	4.775	141.745
25	4	ジェントルマン	4	古里 拓	FLEETレーシングカレッジ	KKS-II	1'56.577	9	5.462	140.909
26	59			村上 太麗	ファーストカレッジKK-S2	KKS-II	1'58.070	8	6.955	139.128
27	16	ジェントルマン	5	大貫 直実	Grade1・AutoLet・KKS	KKS-II	1'59.465	8	8.350	137.503
28	25	ジェントルマン	6	フェリハ 昌	WRS MASA KKS-II	KKS-II	2'02.588	8	11.473	134.000
29	30			菅原 遥希	新潟国際自動車大学校コースEDKKS	KKS-II	2'03.824	7	12.709	132.662
***** 以上予選通過 (2'24.855 - 130%) *****										
52				津田 充輝	ファーストカレッジKK-S II	KKS-II	-	1		
1	ジェントルマン			三浦 和寿	RacingF	KKS-II	DNS			

Entry :31 Start :30

赤旗提示時刻(8:04~8:09)

* CarNo.55 - 一般競技規則第5章第17条3.(ランオフエリア走行)により、当該周回タイムは採択されない。

*1 CarNo.55, 36は、富士スピードウェイ一般競技規則第5章第17条3.(走路の安全規定、走路外走行複数回)違反により、3グリッド降格のペナルティを課す。

*2 CarNo.8は、富士スピードウェイ一般競技規則第5章第16条5.(1)a.(他車への衝突行為)違反により、予選結果より4グリッド降格のペナルティを課す。

S-FJ 決勝レース

2025/11/8/3:25

FUJI SPEEDWAY

正式結果表

Weather: Cloudy

Fuji Speedway(4,563m)

Track: Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Type	Lap	Total Time	Ave. km/h	Gap	Best Time	Lap
1	6			吉田 肇	TAKE FAST KKS-2		12	22'21.218	146.156		1'51.171	5
2	72			濱邊 誠己	ELEVレーシングKKS2制動屋	KKS-II	12	22'30.178	145.186	8.960	1'51.494	6
3	51			切替 悠喜	ファーストカレッジRSD制動屋	KKS-II	12	22'30.238	145.180	9.020	1'51.799	6
4	2			YOSHIDA KODAI	Ts TECHNO		12	22'33.182	144.864	11.964	1'51.535	7
*1	5	56		箕浦 稔己	MYST SEIDOYA KK-S II	KKS-II	12	22'35.624 (22'30.824+5秒)	144.184	14.406	1'51.000	7
6	55			酒井 翔太	ファーストカレッジkks2		12	22'39.567	144.184	18.349	1'51.590	11
7	14			松原 将也	ZAP MARUTOKU 10VED	RD10V	12	22'39.980	144.140	18.762	1'52.028	7
8	84			林 零仁	KSJC KK-SII		12	22'43.224	143.797	22.006	1'52.228	7
9	5			板倉 慎哉	AMORE with Racing F	KKS-II	12	22'43.879	143.728	22.661	1'52.309	10
10	34			藤井 翔大	Drago CORSE		12	22'43.890	143.727	22.672	1'52.077	7
11	33			磐上 隼斗	アルビレックス富士吟景GIA-KKS2		12	22'43.919	143.723	22.701	1'52.178	10
12	23			宇高 希	ライクエスエーティー		12	22'48.810	143.210	27.592	1'52.439	9
13	36			小林 留魁	アルビ新潟第一モテルGIAED	RD10V	12	22'49.134	143.176	27.916	1'52.484	9
14	22			内藤 大輝	RCIT RaiseUP ED		12	22'50.778	143.004	29.560	1'52.600	8
15	61			一宮 総太朗	MYST KK-S II	KKS-II	12	22'50.869	142.995	29.651	1'52.654	9
16	38	ジェントルマン 1		島山 退三	Hobby Base& zap-ED	KKS-II	12	22'55.272	142.537	34.054	1'52.928	8
17	53			石井 大雅	ファーストカレッジ制動屋S II	KKS-II	12	22'55.483	142.515	34.265	1'51.816	3
*2	18	13		武者 利仁	KF MOTORSPORT KK-S2	KKS-II	12	23'01.075 (22'31.075+30秒)	141.602	39.857	1'51.344	8
19	10			杉田 悠真	LAPS with REV RACING GARAGE	KKS-II	12	23'04.357	141.602	43.139	1'51.931	8
20	3	ジェントルマン 2		秋山 健也	スーパーウィンスKKS2	KKS-II	12	23'06.395	141.393	45.177	1'53.527	8
21	15			相田 有羽音	ZAP SPEED 10VED	RD10V	12	23'06.399	141.393	45.181	1'53.506	8
22	8	ジェントルマン 3		野村 大樹	WRS NOMURA KKS-II	KKS-II	12	23'06.402	141.393	45.184	1'53.121	8
23	31			木曾川 一輝	新潟国際自動車大学校コースEDRD	RD10V	12	23'08.615	141.167	47.397	1'53.935	8
24	59			村上 太展	ファーストカレッジKK-S2	KKS-II	12	23'16.940	140.326	55.722	1'53.848	8
*2	25	12		宮本 颯斗	自動車工房ミスト	KKS-II	12	23'18.332 (22'48.332+30秒)	139.964	57.114	1'51.774	10
26	4	ジェントルマン 4		古里 拓	FLEETレーシングカレッジ	KKS-II	12	23'20.556	139.964	59.338	1'54.906	12
27	16	ジェントルマン 5		大貫 直実	Grade1・AutoLet-KKS	KKS-II	12	23'39.409	138.105	1'18.191	1'56.487	9
28	25	ジェントルマン 6		フェルハ 昌	WRS MASA KKS-II	KKS-II	12	23'39.628	138.083	1'18.410	1'56.614	5
29	30			菅原 遥希	新潟国際自動車大学校コースEDRKKS	KKS-II	11	22'25.995	133.433	1Lap	2'00.215	9

***** 以上完走 (規定周回数 10Laps) *****

Fastest Lap

ジェントルマン	1'51.000 (7 / 12)	147.989 km/h	56	箕浦 稔己 / MYST SEIDOYA KK-S II
ジェントルマン	1'52.928 (8 / 12)	145.463 km/h	38	島山 退三 / Hobby Base& zap-ED

Start Time :10:44'47 Finish Time :11:07'08.218

Entry :31 Start :29 Finish :29

レース終了後に黒白旗通知 (11:07 CarNo. 12、53、59、走路外走行複数回)

*1 CarNo.56は、富士スピードウェイ一般競技規則第5章第17条1.3.(ランオフエリア走行後、追越し)違反により、競技結果に対して5秒加算のペナルティを課す。
 *2 CarNo.13、12は、富士スピードウェイ一般競技規則第5章第17条1.(危険な追い越し)違反により、競技結果に対して30秒加算のペナルティを課す。

